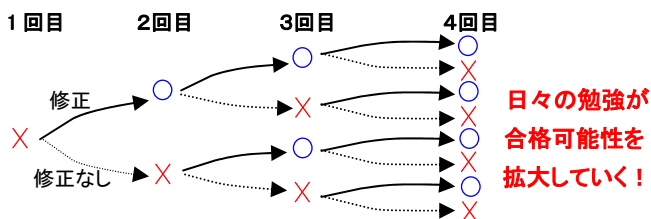


“夏を制するものは入試を征す”と言われるのはなぜでしょうか。昨年の夏を振り返ってみると、各人各様の反省があるはずです。最も多く聞かれる失敗談は、「夏の学習計画を立てず、スタートが遅れてしまった」「得意科目ばかりやって弱点科目に手をつけなかった」「難問ばかり解いて基礎固めをおろそかにした」などです。逆に考えると、「夏の学習計画を立てる」「弱点科目の手当をする」「追い込みの土台となる基礎力を固める」を夏にできれば合格の可能性は高くなるはずです。

そこで、まず夏の学習計画についてです。皆さんはクラス担任や教科担当と相談しながら計画を立てたはずですが、問題があるとすれば、計画が思い通り進んでいないことでしょう。完璧主義の人は特に注意が必要です。計画通りに進まなくなった途端に、不安や焦りから何をしても集中できず悪循環に陥ってしまうことがあります。

そんなときは、夏期講習の予習復習に集中してください。夏期講習は泣いても笑っても受験で避けて通ることのできない必須内容を扱います。第一優先にして間違いありません。また、本学の皆さんは数学や英文解釈などの添削を受けているはずですから、それも第一優先でやることです。それで時間ができればプラスαの勉強をします。大切なことは「やらなければいけないこと、できることをやってしまう」ことです。優先順位をつけて集中していれば、勉強もだんだん乗ってきて、やるべきことも自然とクリアになってくるものです。逆に、無理な計画や自分流にあれこれ固執しすぎると何をしても集中できないままになってしまいます。

ところで、受験勉強の「効率」とは何でしょうか？添削ノートを見ていると、指摘されたミスが必ず修正されてくるノートと同じミスを何回も繰り返すノートがあります。見かけの添削量は同じでも理解の発達スピードは2倍、3倍、いやそれ以上の差があります。日々の添削を重ねる度に、修正力の差は合格へ前進するスピードの差となります。それを図式化すると次のようになります。



(校長 鹿熊国彦)

一学期保護者会行われる

7月17日、18日の保護者会では保護者の皆さんと個別に面談をさせていただきました。6月進研マークの成績をもとに学習状況や今後の課題についてお話ししながら、夏の講習プランについてもご確認いただきました。

6月進研マーク模試成績

6月進研模試は入学して最初のマーク模試であり、その成績は浪人スタート時の得点力(現役時代の実力)を表します。センター自己採点(900点集計)よりも一人当たり50点アップしていました。校内平均点偏差値は以下の通りです。

【6月進研マーク模試成績の昨今比較】

	6-7文	5-7理	国語	数1	数2	英語	リス	物理
今年	60.4	59.1	58.7	58.2	57.3	58.3	58.4	59.3
昨年	59.8	60.7	59.6	59.6	58.6	59.3	58.4	57.4
化学	59.1	57.9	60.2	62.0	68.6	58.7	58.6	63.7
生物	59.0	60.7	52.6	59.7	63.6	58.8	66.3	65.8
地学								
世史								
日史								
地理								
倫理								
政経								
現社								

8月全統マーク模試では、さらに**プラス50点**を目標しましょう！

大学入試説明会開催される

7月19日、富山大、金沢大、青山学院大、立教大、中央大、法政大、同志社大、立命館大、関西学院大、関西大の入試担当者をお招きして大学入試説明会を行いました。冒頭で、「大学での学びとは」と題して、学校法人立命館副総長の本郷真紹教授による基調講演が行われました。「何もしないで『無理だ』とか『不可能だ』とか言うのは、挑戦したくない、つらい思いをしたくないという気持ちを言い換えている嘘にすぎない。10代は身体も頭脳も最も伸びるときなのだから挑戦しなければダメだ。」と檄をとばされていたことが印象的でした。

8月重要スケジュール

- 2日～6日 夏期講習 Bターム
- 8日(日) 代ゼミ国公立医学部模試(希望者)
- 9日～11日 夏期講習 Cターム前半
- 12日(木) 特別授業
- 13日～16日 お盆休み、**自習室利用可**
- 17日～18日 夏期講習 Cターム後半
- 19日～20日 夏期講習 Dターム前半
- 21日・22日 全統マーク模試
- 23日(月) 缶詰自習(模試復習)
- 24日～26日 夏期講習 Dターム後半
- 28日(土) 全体HR、2期受講登録
- 30日(月) 2学期授業開始